

みずほCustomer Desk Report 2019/06/07号(As of 2019/06/06)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.41
TKY 9:00AM	108.34	1.1229	121.65	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	108.56	1.1309	122.39	1.2686	0.6970
SYD-NY Low	108.02	1.1201	121.28	1.2742	0.6994
NY 5:00 PM	108.40	1.1275	122.21	1.2670	0.6964
NY DOW	25,720.66	181.09	日本2年債	-0.2100	1.00bp
NASDAQ	7,615.55	40.08	日本10年債	-0.1200	1.00bp
S&P	2,843.49	17.34	米国2年債	1.8777	2.58bp
日経平均	20,774.04	▲ 2.06	米国5年債	1.8820	1.15bp
TOPIX	1,524.91	▲ 5.17	米国10年債	2.1200	▲ 1.05bp
シカゴ日経先物	20,675	▲ 115	独10年債	-0.2410	▲ 1.35bp
ロンドンFT	7,259.85	39.63	英10年債	0.8240	▲ 3.90bp
DAX	11,953.14	▲ 27.67	豪10年債	1.4660	▲ 2.55bp
ハンセン指数	26,965.28	69.84	USDJPY 1M Vol	6.95	▲ 0.13%
上海総合	2,827.80	▲ 33.62	USDJPY 3M Vol	7.01	0.04%
NY金	1,338.00	4.40	USDJPY 6M Vol	7.18	0.01%
WTI	51.41	▲ 0.27	USDJPY 1M 25RR	-1.56	Yen Call Over
CRB指数	173.87	1.53	EURJPY 3M Vol	7.21	▲ 0.07%
ドルインデックス	97.04	▲ 0.28	EURJPY 6M Vol	7.53	▲ 0.07%

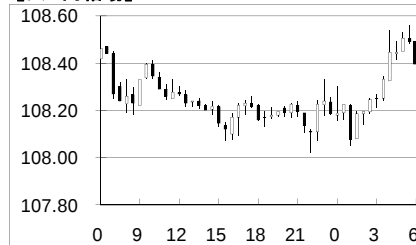
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月6日	16:30	独 マークイット建設業PMI	5月 51.4	-
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	1Q 0.4%/1.2%	0.4%/1.2%
	18:00	英 カーニーBOE総裁講演「英国がEUを円滑に離脱すれば、英中銀は引き続き利上げを実施する必要がある」		
	20:45	欧 ECB主要政策金利	- 0.000%/0.250%/-0.400%	0.000%/0.250%/-0.400%
	21:30	欧 ドラギECB総裁講演「経済指標は悪くなく、見通しで大幅な悪化は全く見込んでいない」		
	21:30	米 貿易収支	4月 -\$50.8b	-\$50.7b
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 218k	215k

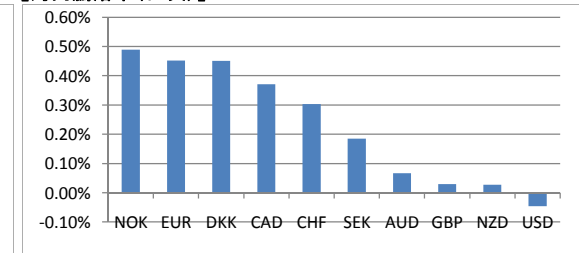
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月7日	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	4月 -0.5%	0.5%
	15:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 0.3%/1.0%	-0.9%/-0.9%
	15:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	4月 -	-1.0%/0.5%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	5月 175k	263k
	21:30	米 失業率	5月 3.6%	3.6%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	5月 0.3%/3.2%	0.2%/3.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.90-108.90	1.1200-1.1300	121.50-123.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は108円台前半で終始推移。朝方は中国からの輸入品に対してトランプ大統領が追加関税を賦課する用意ありと発言したこともあり、リスク回避の姿勢が強まる中、ドル円は108円前後まで下落。但し、ロンドン時間に入ると、ECBが想定以上にハト派ではなかったこともあり、ドイツ10年金利が上昇する局面では米10年金利も連れて上昇し、ドル円も反発。また、ニューヨークの午後に入ると米政府がメキシコへの関税賦課を先送りする方向で検討中との報道から、ドル円は108円50銭近辺まで回復。その後は、特段大きな材料に欠ける中、レンジ内で推移。引き続き、政治的なヘッドラインには留意が必要なもの、リスク資産は堅調に推移しており、ドル円も底堅い展開を予想する。

東京	オセアニア時間、大手格付け会社がメキシコの格付けを「BBB」に引き下げたことからメキシコが急落する中、ドル円はリスク回避の円買いによって108.40付近から108.18円まで下落し、108.34レベルで東京時間オープン。日経平均株価が上昇する中、ドル円は108.41円まで上昇するも、上値を試す展開とはならず東京時間安値108.07円までじりじりと値を下げる展開。結局、108.12レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は108.12レベルでオープン。新規材料に欠ける中、狭いレンジで推移、108.08円まで売られる局面もあったが、結局108.19レベルでNYへ渡った。ロンドンドルは1.2679レベルでオープン。英中銀総裁カーニー氏が「英国がEUを円滑に離脱すれば、英中銀は引き続き利上げを実施する必要がある」との発言が流れると瞬間的に1.2717まで買われるが、すぐ反落。その後、ECBの主要政策金利の据え置きが、市場予想ほどハト的ではなかったことを受け、ユーロが買われる場面ではロンドンも連れ高となった。1.2727まで上値を伸ばし、結局1.2727レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円はリスクオフの円買いが優勢となり、108円台前半で上値重く推移し、108.19レベルでNYオープン。NY朝方はECB理事会を背景にユーロドル売りが強まったことから安値108.02をつける。しかし、米株が堅調に推移する中、この水準では買い戻され、その後108.20近辺でもみ合う。NY午後は「米政府がメキシコ関税賦課の先送りを検討」とのヘッドラインが伝わり、貿易戦争激化への懸念が後退し、高値108.56まで上昇する。買い一巡後は、108.35まで反落し、108.40レベルでクロスした。一方、海外時間のユーロドルは、ECB理事会を控え様子見ムードが強まる中、1.1230近辺の狭いレンジで推移。NY早朝のECB理事会では「政策金利の据え置き」、「来年上半年末まで現金金利水準を維持」等が決定され、発表直後は売りで反応したことから安値1.1201を付けるが、事前予想ほどハト派な内容でなかったことから1.1272まで買い戻され、1.1265レベルでNYオープン。NY朝方のドラギECB総裁会見では「経済指標は悪くなく、見通しで大幅な悪化は全く見込んでいない」と発言したことが伝わり、ユーロの買いが先行し、1.1309をまで上昇するが、その後、「政策委員の一部は利下げの可能性を提起した」と述べており、1.1245まで反落する。その後、再び1.1300まで上昇する局面もあったが、同水準を上抜けできず、NY終盤は1.12台後半で方向感無く推移し、1.1275でクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:百瀬・田家